

2024 第3回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【英語】

今回は2学期の後半に実施するテストということで、中1の最初から中2の2学期における英語学習の成果が出やすいテストとなっています。読解問題はジャンルの異なる英文読解3題、客観問題4題は基本レベルと応用レベルをミックスした内容となっています。

1 長文読解問題1 (説明文)

人が目的地を移動する際の経路や、自分のいる位置を確認するための道具(地図)や手段(GPSを用いる)をテーマにした説明文です。問1の整序英作文は、be able to～「～することができる」と後にくる目的を表す副詞的用法の不定詞 to find がポイントになります。問3の和訳は、文の後半の finding は動名詞なので、「見つけること」と訳すことがポイントです。問4の適語選択は、GPSに関する内容なので、アの lost を選び、get lost「道に迷う」になると判断します。問7の動詞の適語選択・語形変化の空所 a と空所 c では、前置詞の直後にくる動詞の形は動名詞になることを覚えておきましょう。空所 b では、動詞 do の後にくる動詞の形で考えられるのは、不定詞(副詞的用法)だけと考えます。問9の書き換え・適語補充は、下線部(8)の「あなたは何もできない。」を書き換えた文は「あなたができることは何もない。」になると判断し、2つの空所には nothing「何も～ない」と for「～にとって」を答えます。

2 長文読解問題2 (物語文)

アメリカのニューヨークで、兄弟のように仲が良かった二人の男が、一人が西部に行くことによって別れてから、当初の約束通り20年ぶりに再会するという物語です。問3の和訳は接続詞 because「～なので、～という理由から」の訳と he thought(that) it was…の省略されている接続詞 that「～ということ」の訳がポイントになります。問5の書き換え・適語補充は、<△分 to ○時>「○時△分前」の時刻を、一般的な時刻の言い方「○時△分」に書き換える問題ですが、fifty-seven「57」の-(ハイフン)を忘れないようにしましょう。問11の適語句選択は、本文全体をよく読んで、正解を選ぶ問題です。20年前の別れの際に決めた待ち合わせ場所であるイの「ビッグ・ジョー・ブレイディーのレストラン」は5年前にすでになくなったと書かれているので、うっかり選ばないようにしましょう。

3 長文読解問題3 (適語選択)

ある病院では、ペットの動物と触れ合うことによって、患者たちが心と体を癒し、ひいては健康状態を良くするための取り組みがなされているという話です。空所1は第5文型<make+O+C>「OをC(の状態)にする」、空所4は病院の患者に関することなので、ウの「～に違いない」が最も適切です。空所5にtoが入る look forward to～「～を楽しみにしている」は、頻出の熟語です。

4 誤文訂正問題

1, 2は基本問題です。3は継続を表す前置詞 until 「～まで」と期限を表す前置詞 by 「～までに」の意味の違いを問う問題です。4は、動詞 mind 「気にする」が enjoy, finish などと同様に、後にくる動詞の形が動名詞のみであることを問う問題です。5は one and a half 「1.5」の後にくる名詞は複数形であることを問う問題です。

5 連立完成問題

1の上の英文では、<命令文～+and…>「～しなさい、そうすれば…」の形を知っているかがポイントになります。併せて<命令文～+or…>「～しなさい、さもないと…」の形も覚えておきましょう。2の上の英文では、空所の直後の動詞が過去形の said なので、空所には never が入ります。4の上の英文の空所には、下の英文の by car 「車で」に着目し、「車で行く」という動詞の drive が入ります。

6 適語補充問題

1は基本的な問題です。後の空所を含む「～の仕方[方法]」は<how to 不定詞>で表します。2は文頭の動名詞 Knowing 「知っていること」と同じように、「それ(をすること)ができること」は be able to～「～することができる」の be を動名詞の being にします。3は、動詞 noticed の直後の空所の後に I lost…と<主語+動詞>が続くことから、接続詞 that 「～ということ」が空所に入ると判断します。残りの2つの空所に入る語を答えるのには、have no idea [=don't know] 「わからない」と「何を～したらよいか」の<what to 不定詞>の知識が必要です。

7 整序英作文問題

1の「何時につく(予定)か」は、<疑問詞+名詞+to 不定詞>で、what time to arrive の語順にします。2の「(私は)あなたに(それを)あげましょう」は、I'll give it to you の語順になります。第4文型の<give+人+物>は、第3文型の<give+物+to 人>に書き換えられることを覚えておきましょう。

2024 第3回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【数学】

基本的な問題から応用的な問題まで幅広く出題しています。全体を通すと、比較的計算量は少ないものの、その分正確な知識と理解力が求められる出題が多くなっています。適切な解法を会得し、今回のテストがこの先の学習や受験に役立つことを願っています。

1 計算問題（多項式の加減、単項式の乗除、連立方程式）

(1)～(3)は基礎的な計算と言っても間違いありません。(4)は、逆数を文字で置くことができるとすんなりと解くことができるのではないのでしょうか。普通の連立方程式を解けることが前提で、複雑な連立方程式や文章題等につながっていきますので、早く正確に計算できる力を身につけてほしいです。

2 小問集合（式の値、文字式、直線の式、連立方程式、回転体の体積）

(1)は式の値からの出題です。(2)は円錐を回転させる問題です。類題を解いた経験があるかもしれませんが、具体的な数値が一切与えられていないことから、正確な理解が求められます。(3)では、2つの二元一次方程式を組み合わせた連立方程式の解が、それら方程式が表す2直線の交点の座標と一致することに着目すれば、容易な計算で答えを導き出すことができます。発展的な内容ですので確実な理解を求めませんが、解をもたない状況がありうる、という事実を覚えておくと、中3や高校以降の学習に役立つでしょう。(4)は回転体の体積を求める問題です。

3 関数と図形（直線の式、等積変形）

1次関数と三角形の面積に関して出題しました。(2)・(3)では三角形の等積変形を活用することで解き進めることが可能です。ただし、(3)では直線CDの切片を求めるまでがやや苦勞するかもしれません。異なる方針をとった人も、等積変形を用いる解法を読んで理解してほしいと考えています。

4 連立方程式の利用（文字式、連立方程式）

動物園の入場客の人数に関する連立方程式の文章題です。昨今、普及が加速している電子チケットをテーマに作問をしました。問題文で与えられた条件から正しく式をつくる力が求められます。(2)(ii)では、1人あたりの所要時間、あるいは1分あたりの入場人数といった、単位量あたりの大きさを考える必要があります。与えられていない量を新たに設定するので、式をつくるのが難しかったかもしれません。

5 平面図形（三角形の合同，座標上の面積）

直角三角形をテーマにした合同に関する問題です。(1)で証明した事実をヒントに(2)を解き進めることを想定しています。求めたい値に向けてどの条件を使えばよいのか，自ら組み立てる力が問われます。計算量はわずかですので，図形の性質を十分に考え抜いてみてください。

6 平面図形（正多角形），整数

正多角形の1つの外角に関する問題です。あまり見慣れない問題であったかもしれませんが，(1)は確実に正解したい問題です。(2)では，(i)で得た答えをもとにして式をつくりましょう。未知の文字が2つあるのに，連立方程式ではなく式は1つしかありません。 m と n が整数である，という条件を駆使して，それらの組み合わせを探していくことが求められます。論理的に導き出すことが喜ばしいものの，本問は1組だけ見つければ正答できますので，小さい整数を地道に代入していくなどしてたどり着くことも可能です。

2024 第3回駿台学力テスト 中2 出題のねらい【国語】

二年生の夏休みの期間までに身についた、漢字や文法などの基本的な事項を把握しているか、論説文や随筆文など文章を読み解く力が身についているかを確認する内容となっています。基本から応用の幅広いレベルの読解・記述・文法問題を出题しました。学年終盤の学習モチベーションを上げることにも適切なテストになっています。

目標点は45～50点。

㊦ 漢字の読み書き

(1)は同訓異字に、(2)は形の似た字に注意して、(8)はその言葉の意味も含めて読み書きできるようにしましょう。正しく漢字を読み書きする力は、国語力の土台となる能力となります。学習した漢字は意味を含めて確実に覚え、はねはらいに注意して丁寧に書くようにしましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 湯川秀樹「具象以前」

筆者の湯川氏は、日本人としては初めてのノーベル賞受賞者であり、中間子の研究で大きな功績を残した高名な物理学者です。この文章では、研究や努力が実を結び、成果として形になる前の「具象以前」について書かれています。機械では決してまねをすることのできない、人間の無限の可能性について考察する上で非常に興味深い内容であり、最後の問十で取り上げた瀬名秀明氏の『ロボットとの付き合い方、おしえます』と合わせて読むことによって、さまざまな気付きを我々に教えてくれることでしょう。簡潔で読みやすいが深い示唆に富んだ、理系の学者らしい文章を楽しみながら読み進めてもらうことがねらいです。問一・問五は文脈をしっかりたどっていけば解けるでしょう。問四・問七の記述問題は指示語の内容を正確につかみ、要点を的確にまとめることができるかを確認します。与えられた条件に則して解答しましょう。問十は本文とは別の文を読ませて、内容を比較しながら論旨を問う、最近入試で多く見られるスタイルの問題です。今から慣れておきましょう。

☐ 俳句を含む随筆文の読解…………… 高野ムツオ『鑑賞 季語の時空』

「柿」という季語に注目し、同じ季語のさまざまな俳人の句を読み比べる文章です。冒頭で取り上げられている正岡子規の「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」は誰もが知る名句ですが、柿が非常に好きであったという正岡子規の人物像や、この句の「法隆寺」がもともとは「東大寺」であった、といった逸話を知ることによって、句への理解が深まることを感じるができるでしょう。なぜ句の背景を変えたのか、それによってこの句が名句となって後世に伝え継がれたのか、それを読み解いて問六が得点できているかどうかは俳句の鑑賞において大事なことをつかんでいるかどうかを確認することにつながっています。また、季語や句切れなどの知識は俳句の読解では必ず問われるポイントであり、表現技法などと合わせて確実に覚えていくようにしておきましょう。

☐ 文法

動詞の活用についての問題です。動詞の活用形は助動詞の学習にもつながるものであり、確実な知識が求められます。ニュアンスで解いてしまわず、文法上のきまりごとをしっかりと整理して、確実に解けるようにしておきましょう。